

大空 (生徒・保護者向け) 2号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年4月9日(木)

第14回宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校入学式式辞～感性を磨く～

□本日の概要

- 新しい仲間との出会いを大切に、未来への夢をふくらませよう。
- まず感性を磨こう。感性を磨くには、本物の芸術(Art)に触れなければならない。
- さらに芸術だけでなく、自然科学、社会科学、人文科学分野を含む「Liberal Arts」つまり「教養」を身につけて欲しい。
- 富士山のような広い教養の裾野を身につけ、若竹のようにぐんぐん伸びて欲しい。

□新しい仲間との出会いを大切に夢をふくらませよう

暖冬と言われながらも、例年より遅い桜が、あたかも新入生の皆さんを待っていたかのように咲き誇るこの佳き日に、保護者の皆様とともに、ここに第14回宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校入学式を挙げていきますことは、私たち教職員一同、誠に喜びに堪えないところであり、厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可されました新入生80名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年は、3月に全国の学校が一斉休校になりました。小学校の仲間との別れを十分に惜しむことができないまま、卒業式を迎え、辛い思いをした人もいたのではないのでしょうか。現在も状況は改善しているとはいえ、皆さんも保護者の皆様も不安を抱える中、今日という日を迎えられたことと拝察します。

しかし、私達は前に進まなければなりません。これから、不安なことはきっとあるでしょう。しかし、皆さんには、相談できる新しい先生がいます。何でも新しい先生に相談してください。また、各地から集まった新しい仲間がいます。今日からの新しい出会いを大切に、様々なことを語りあい、夢を膨らませて欲しいと思います。

□感性を磨く

入学する皆さんに、いくつかお願いしたいことがあります。

まず、感性を磨いてください。感性とは、物事を心に深く感じ取る心の働きで、「感性を磨く」とは、いわば心のアンテナの感度を高くすることです。アンテナの感度が高ければ、様々なものが皆さんの心にキャッチされます。こ

れから、高校を加えれば6年間もの間、皆さんは、この仲間とともに、この学校で様々な良いものに出会います。アンテナの感度が高ければ、良いものがどんどんアンテナに引っかかります。ところが、感度が低いと、同じ体験をしていても、すり抜けてしまうのです。感性のアンテナが高い人は、この宮崎西高校附属中学校、そして宮崎西高校に続く6年間で、驚くほど多くのものを蓄積することができますでしょう。

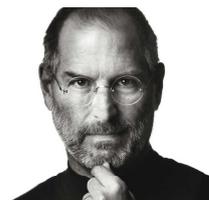
□STEAM教育の推進～Artの重要性～

それでは、感性はどうやって磨くのでしょうか。感性は、教えることができません。しかし、磨き、伸ばすことができる能力です。

本校では、皆さんの感性を磨くために、STEAM教育に取り組んでいます。STEAMとは、ScienceのS、TechnologyのT、EngineeringのE、ArtのA、MathematicsのMの頭文字をとったものです。サイエンスは「科学」、テクノロジーは「技術」、エンジニアリングは「工学」、マスマティクスは「数学」です。その中でも、本校はアートを重視しています。

それではアートとは何でしょうか。一般的に、アートは「美術」と訳されますが、実は美術だけではなく、音楽、美術、書道などの芸術全般を指します。つまり、感性を磨くには、まずは本物の芸術に触れることが大切なのです。

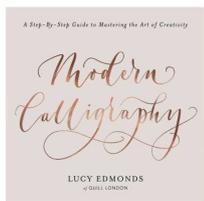
芸術は苦手だ、よく分からないという人もいるでしょうが、それでいいのです。例えば抽象画など、何が描かれているのか分からない作品もあります。でも、何となくすごいと思うだけでいいのです。人間は、本物に触れているうちに、何かを感じとれるようになります。芸術に触れることで、論理では説明できないものをキャッチする感性が磨かれます。そして、論理を超えたものを捉える感性が、実は、論理的な考え方や、独創的な発想を育てる力になるのです。



アップルコンピュータの創業者は、スティーブ・ジョブズという人です。iPhoneに代表される美しいデザインの製品は世界を変えました。初代iPhoneが発売されたのは2007年、日本で発売されたのが2008年のことです。皆さんが生まれた頃は、誰も「スマートフォン」という端末を想像することさえ

できなかったのです。しかし、わずか12年ほどで、世界はまったく変わってしまいました。彼は便利で、美しい製品を作り出しただけでなく、スマートフォンという新しい世界を作りだしました。存在しなかったものを生み出すこと、これをイノベーションといいます。それを可能にしたのは、貪欲ともいえる知的好奇心、特に芸術に対する感性です。

ジョブズは大学に入学しますが、半年で退学してしまいます。しかし、彼は、勉強しなかったから退学したのではありません。彼は必修科目の講義に飽き足らず、退学して興味のある講義に勝手に潜り込んで、様々なことを手当たり次第に学んでいきました。



カリグラフィー

当時、彼の潜り込んだ講義の一つに、カリグラフィー、つまり西洋の書道の授業があります。ジョブズは、講義で、飾り文字や様々な書体、スペースの取り方など、カリグラフィーを美しく見せるにはどうしたらいいかを学びました。伝統的で芸術的な

「文字」の世界を徹底的に研究した結果、アップルの美しいフォント開発にたどり着いたので

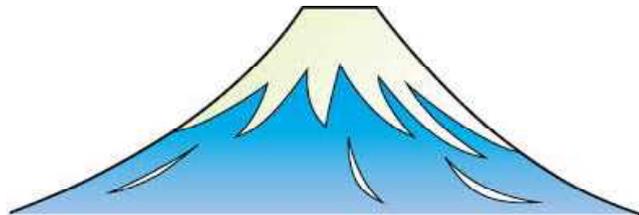
す。その後も、彼は製品の美しさ、人々をうっとり、わくわくさせることにこだわり続けました。私達の周りを見渡せば、建築でも、飛行機でも、車でも、機能的に優れているものは、デザインの的にも優れています。美しい音を出す楽器は美しい工芸品です。自然界も、雄大な大自然や様々な動植物、電子顕微鏡でしか見えないミクロの世界や、遙かかなたに輝く月や星など、美しいものが溢れています。それらを見て、素敵だ、なぜだろう、どうしてだろうと思う感性、美に憧れる感性が、科学を発達させるのです。

リベラルアーツ=教養の重要性

また、「liberal arts」という言葉があります。リベラルは「自由」という意味です。アーツは「Art」の複数形ですが、芸術の「術」すなわち「技」という意味もあります。つまり、リベラル・アーツの直訳は、「人間を自由にする様々な技」となります。様々な技ですので、アーツは、「芸術」だけに限定されるものではなく、自然科学、社会科学、人文科学などの、学問すべてを含む大きな言葉であり、日本語では「教養教育」と訳されます。

「教養」とは、いわゆるテストを解くための学力ではありません。何でも知っている「雑学」でもありません。人間をささえる、広い広い裾野が「教養」なのです。皆さんは、高校入試を受験することなく、宮崎西高校理数科に進学することができますが、これは皆さんを「受験勉強」という小さな枠にはめず、広い教養の海で、自分の力で泳いでもらうためです。もちろん、高校入試は悪いものではありません。高校入試は中学校段階までの学習の定着度を測るという意味で大切なものではあります。それが通過点であれば、やはりそれを通過するための「技」を磨く時間

が必要になります。そうすると、興味のあることを幅広く学んだり、興味のあることを徹底的に掘り下げたりすることを、ちょっと我慢する必要もあるでしょう。しかし、本当の教養は、入試という枠で縛れるものではなく、とてもとても広いものです。皆さんは、3年後の入試という枠が外されましたが、それは、教養の海での6年間の遠泳のスタートであります。



また、富士山を思い浮かべてください。富士山は高い山ですが、高い山には必ず広大な裾野があります。裾野が狭ければ、山は高くはなれません。どうしても小さくなります。これからの中学校段階の3年間は、幅広い教養を学んで裾野を広げるための3年間です。



また、竹という植物があります。竹は、驚異的な成長力があり、タケノコはすぐに若竹になります。成長すると、どんな強風もしなやかに受け流します。竹は、仲間を増やし、竹林となり、どんな大木にも負けない強さを持つようになります。皆さんが、この宮崎西高校附属中学校、そして宮崎西高校を通して、富士山のように広く裾野を広げ、大きく、たくましく成長することを、そして、竹のようにすくすく伸び、仲間を増やし、どんな試練もしなやかに受け流す強さを身につけるよう願っています。

最後になりましたが、保護者の皆さまにおかれましては、お子様の入学、おめでとうございます。現在、私達を取り巻く状況を見ると、特に不安なお気持ちであったかと拝察いたします。しかし、ここにいる子どもたちは、宮崎、いや、世界の宝です。現状の厳しさの中で、自分たちが何をなすべきかを理解できる子どもたちばかりであると信じています。私達教職員は、全力で、この宝のような子どもたちを育てます。ご心配なことは何でも御相談ください。私達は、全力でこの子どもたちの命を守ります。

さて、新入生の皆さん、いよいよ宮崎西高等学校附属中学校での生活が始まります。思いきって、中学生活の第一歩を踏みしめてください。今後の皆さんの中学校生活が充実したものになるよう、教職員一同、全力で支援することをお約束し、式辞といたします。